

# 教育と文化

No.123

令和2年7月



## Contents

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 2 卷頭言                 | 10 令和元年度最優秀論文              |
| 4 三河の文化を訪ねて           | 12 刊行物の活用紹介                |
| 6 <b>特集</b> 研究助成団体の紹介 | 13 令和2年度学校教育ボランティア助成グループ一覧 |
| 8 教育隨想                | 14 令和2年度研究発表校一覧            |
| 9 教室の窓辺               | 16 文振だより                   |



## 巻頭言

# 伝統を引き継ぐ

天野明典

公益財団法人愛知教育文化振興会理事長

このたび、壁谷幹朗先生の後を受けて理事長に就任しました。長い伝統をもつ愛知教育文化振興会の理事長としての重責を感じ、身の引きしめる思いです。もとより微力ですが、役員の皆さん、事務局の皆さんのご指導ご支援を得て、職務を遂行していくこうと思っています。前理事長同様に温かいご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

三河の教育の本質は、「流行や流儀を追うことではなく、あくまでも子どもに誠実で、地道な教育実践を継続していくことにある」と言われています。その伝統が、愛知教育文化振興会の刊行物にも息づいています。昭和57年に、副理事長であった高畠平氏は本誌で「自分たちが編集した物を自分たちが教室で実践し、その結果を反映し改善していく」と記しています。

今もその伝統は受け継がれ、刊行物の編集は三河教育研究会が担当し、三河の郡市から選出された委員が編集しています。それを学校で実際に使ってみて、モニターによる評価をしています。その評価に基づき、改善を加えて、次年度版を作成しています。今も、目の前の子どもの姿を念頭に、できるだけ安価に、現場の教師の手助けとなる刊行物を目指しています。

2年前から、校長会、三教研、文振の三者の連絡会が行われるようになりました。同席させていただく中で、新規刊行物「英語の学習」の生みの苦労を目の当たりにしてきました。

立派な学習資料が必要である」という声があがると、さっそく、平成29年度に三河教育研究会の英語部に属する会議の一つとして「小学校英語」学習資料検討委員会が立ち上りました。翌年度には、「(仮) 小学校英語編集委員会」が設置され、評議に役立つ学習資料のサンプル作りが本格化しました。昨年度は、正式に「英語の学習」編集委員会となり、教科書が決まるとき同時に編集作業が急ピッチで進みました。観点別評議に対応でき、QRコードとリスニングCD付きの現在の形になりました。実際の授業での使い勝手については、本年度忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。

「伝統を引き継ぐ」ということで、私の勤務校である豊田市立朝日丘中学校の「合唱」について紹介します。

本校は、地域から「合唱の朝中」と呼ばれているほど歌を大切にしている学校です。朝の会後に発声練習をしたり、給食後に合唱の練習をしたりすることが日常的に行われており、歌声が毎日絶えない学校になっています。

本校に入学してくる子どもたちの合唱への関わりは、入学説明会から始まります。入学予定の生徒の保護者が学校からの説明を受けている裏で、6年生は出身学校ごとに別の会場に移動し、先輩となる1年生から発声練習の仕方を教えてもらいます。1年生は後輩になる小学6年生に教えるこ

とを通じて先輩になる意識を高めていきます。きつと昨年度の自分の姿を重ね合わせていることでしょう。

入学すると、新1年生はすぐに5月に行われるファーストコンサートに向けて合唱練習に取り組み始めます（今年度は中止しました）。入学して初めて学級ごとに合唱を発表すること、1か月間ほどという短い練習時間しかないこともあります。緊張して伴奏が途中で止まってしまうこともあります。一生懸命を肌に感じます。発表後は、音楽の教師が審査・講評をし、簡単なレッスンもします。生徒は真剣に講評を聞き、レッスンへの集中度也非常に高いです。こんな経験を積んで「合唱の朝中」はつくられるという思いをもちました。

さらに、生徒会の委員会の中に「合唱委員会」があります。合唱する環境を整え、合唱を支える役割を担っています。朝の会後の发声練習や、給食後の合唱練習の指示を出すことも行っています。片づけを済ませた教室で、円になつてパートごとに練習する姿は微笑ましいものです。

合唱の最大に盛り上がるイベントは、11月に行われる合唱コンクールです。本校は豊田市の中心部に位置し、市民文化会館に歩いて5分の場所にあります。平成元年度から市民文化会館の大ホールで合唱コンクールを行うようになりました。毎年、1階席は生徒と保護者、地域の人でいっぱいになります。

合唱コンクールの中で、観客が心待ちにしています。

「伝統を引き継ぐ」とは、どういうことでしょう。形を守るだけではなく、そこに流れる強い思いを、次の世代に伝えていくことだと思います。その一翼を担えることを幸せに感じながら職務に励みたいと思います。



高浜市やきものの里

瓦をテーマにした日本で唯一の美術館

# かわら美術館

高浜市教育委員会 学校経営グループ 主幹 鈴木 剛

高浜市は、生産量日本一を誇る三州瓦の中心的な産地である。生産が始まったのは江戸時代中ごろ、材料となる良質な粘土が豊富に採れしたこと、海に面しており輸送の便に恵まれたこと、大都市で瓦葺きの家屋が増えたことなどにより、幕末から明治にかけて一大産地として発展を遂げた。この地、高浜に、「高浜市やきものの里かわら美術館」は日本で唯一の「かわら」をテーマにした美術館として、平成7年10月に開館し、今年は開館25周年を迎えることになる。日本や世界の瓦と焼き物を中心に、それらに関連した絵画や版画、浮世絵、書、写真等の美術品を収集し、常設展示や企画展をとおして紹介している。また、さまざまなテーマの特別展を開催しており、瓦や

やきもの、絵本原画、アル・ブリュットやサブカルチャ、平和に関する展览会などをを行っている。そのほか、館内に陶芸創作室を設置しており、やきものをつくる楽しさを味わうこともできる。



やきものの里 森前公園

やきもの、ホールやスタジオも利用することができ、芸能文化活動の拠点としての役割も果たし、市民からも親しまれている。



やきものの里 かわら美術館 全景

瓦の展示と聞くと、そこに歴史的な価値を求めがちであるが、かわら美術館では、美術品として瓦を鑑賞することをコンセプトとしている。常設展示では、中国古代から現代の瓦や、白鳳時代の古代瓦、安土桃山時代の瓦などとともに鬼師（鬼瓦をつくる職人）の技が光る手作りの造形的な飾り瓦（鬼瓦）や現代の最先端技術でつくられた瓦など、古代から現代までさまざまな瓦を鑑賞することができる。

して鑑賞されることを意識して建設されているところがおもしろい。

瓦の展示と聞くと、そこに歴史的な価値を求めがちであるが、かわら美術館では、美術品として瓦を鑑賞することをコンセプトとしている。常設展示では、中国古代から現代の瓦や、白鳳時代の古代瓦、安土桃山時代の瓦などとともに鬼師（鬼瓦をつくる職人）の技が光る手作りの造形的な飾り瓦（鬼瓦）や現代の最先端技術でつくられた瓦など、古代から現代までさまざまな瓦を鑑賞することができる。

瓦の展示と聞くと、そこに歴史的な価値を求めがちであるが、かわら美術館では、美術品として瓦を鑑賞することをコンセプトとしている。常設展示では、中国古代から現代の瓦や、白鳳時代の古代瓦、安土桃山時代の瓦などとともに鬼師（鬼瓦をつくる職人）の技が光る手作りの造形的な飾り瓦（鬼瓦）や現代の最先端技術でつくられた瓦など、古代から現代までさまざまな瓦を鑑賞することができる。

## 進化する瓦

瓦の技術は、588年に百濟から招聘された4名の瓦博士によって日本へ伝えられた。以来、屋根を覆う瓦は、

風雨から家を護る機能性とともに装飾性を求められ進化してきた。不燃性の瓦は、木造建築の多い日本において火災延焼を防ぐ役割も担っていたため、鮓、菊水、波、雲など水や雨を連想させる造形が多く見られる。また、厄除けとして鬼や鍾馗、福を招く七福神、長寿の象徴である鶴や亀、途切れるこ

となく続く子孫繁栄を意味する蔓草や雲流など、人々の願いが形となつた飾り瓦がたくさんあり、地域の屋根を彩っている。近年では、地震や台風など災害に対応した「防災瓦」が製品化されている。軽量で施工時に瓦同士がかみ合う構造をもち、地震や台風など

かみ合う構造をもち、地震や台風など

の自然災害に強い固定力をもついている。また瓦の材料や製法を用いて食器や表札等がつくられ、普及しているところでもある。

## 鬼みち＆鬼みちまつり

市内には歩ける道「鬼みち」がある。平成8年から国のウォーキングトレーラル事業によって整備され、平成16年には、「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選ばれた。名鉄高浜港駅より三河高浜駅までの約4キロメートルのコースに、飾り瓦や鬼瓦、瓦の材料や製法を用いたモニュメント等が配置され、「かわらのまち 高浜」を感じることができるコースとなっている。ぜひ足を運んでいただきたい。また、毎年、「鬼みちまつり」が開催されている。高浜の文化的シンボルである瓦の歴史やそれを肌で感じることのできる鬼みちを拠点として、郷土の個性や自然からつくられる情緒を再認識するため始められたイベントである。毎年、多くの人が訪れ、賑わいを見せている。「鬼みちまつり」に向かって、市内の園児、小・中・高校生が瓦粘土を使つて鬼あかり（陶製ランプシェード）を制作し、鬼みち沿道を飾つている。子どもたちは、鬼師やかわら美術館の指導員からの指導を受け、思い思

いの鬼あかりをつくっている。日没になると鬼あかりに蠟燭がともされ、幻想的な風景を味わうことができる。

やきものの里 かわら美術館（以下、かわら美術館とする）が建つこの地は、かつては海であった。ここから全国に向けて瓦を運んでいたこともあり、美術館の建物は、「千石船」をイメージしてつくられている。また、美術館の前面には、美術館建設に合わせて整備された「やきものの里 森前公園」が広がっている。こちらは、千石船が進む「海」に見立て、灰銀色の「いぶし瓦」が波を表現するように敷き詰められている。美術館そのものが美術品と

される。また、ホールやスタジオも利用することができ、芸能文化活動の拠点としての役割も果たし、市民からも親しまれている。

## 千石船をイメージした建物

やきものの里 かわら美術館（以下、かわら美術館とする）が建つこの地は、かつては海であった。ここから全国に向けて瓦を運んでいたこともあり、美術館の建物は、「千石船」をイメージしてつくられている。また、美術館の前面には、美術館建設に合わせて整備された「やきものの里 森前公園」が広がっている。こちらは、千石船が進む「海」に見立て、灰銀色の「いぶし瓦」が波を表現するように敷き詰められている。美術館そのものが美術品と

## 海を渡る三州瓦

近年、三州瓦は海外に輸出される機会が増え、最近では高浜・碧南地区で焼成された瓦が中国の古都、西安の大雁塔を管轄する大慈恩寺の伽藍の一部として使われている。また、美術館の前面には、美術館建設に合わせて整備された「やきものの里 森前公園」が広がっている。こちらは、千石船が進む「海」に見立て、灰銀色の「いぶし瓦」が波を表現するように敷き詰められている。美術館そのものが美術品と

される。また、ホールやスタジオも利用することができ、芸能文化活動の拠点としての役割も果たし、市民からも親しまれている。



鬼みちまつり



鬼みちまつり



【やきものの里 かわら美術館】月・火曜日休館

高浜市青木町九丁目6番地18  
TEL 0566-52-3366



本法人は、三河の教育の充実・向上を図るために、小中学校の教育振興に寄与する教育研究団体に助成を行っている。

## 1 子どもたちの健やかな成長のために

### ● 特別な配慮をする児童生徒の対応（安城）



子どもの発達に関する課題を取り上げ、児童生徒の発達を支援するために教頭としてどのように校内体制を確立していくのか、どのように教職員の対応力を育てていくのかについて研究をすすめた。

ある小学校では、当該児童に対しスクールカウンセラー(SC)や医療機関と連携し、学校における支援方法について助言をいただいたり、「主体的・対話的で深い学び」を特別支援の視点ですすめるためにワークショップ形式による校内研修を行ったりして、支援体制を確立させていった。

### ● 地域とともに成長する学校（豊橋）



子どもたちの成長は、学校だけでなく地域の活性化を促し、「地域とともに成長していく学校」づくりに大きく関わっていくという理念から、学校・地域との連携をどのように教頭がコーディネートしていくのかについて考え、実践をすすめた。

ある中学校では、保護者(PTA)と地域の方への協力をいただきながら校区の主要道路に生える果実の収穫活動を行い、収穫された果実を校区内の福祉施設や他県地域に配布し交流を図った。

上級生が下級生に収穫の技術的知識や方法を伝達するなかで「協力の大切さ」や「勤労の喜び」を実感した。また、地域や保護者の協力を得ることで、連携の大切さにも気付いた。連絡調整や広報活動を行うという教頭の役割の大切さを確認した。

## 2 よりよい学校運営のために

### ● 一歩進める働き方改革（岡崎）



通年で1つの課題について研修をすすめ、年に2回程度自主研修会を持ち、研鑽を重ねている。昨年度より「働き方改革」について研究をスタートさせたが、本年度は「1歩進める働き方改革」を主題とし、外部からの講師を招聘してご指導をいただいたり、各学校におけるさらなる取り組みの実際と課題・成果を共有し合ったりする機会を得た。

学校行事やPTA活動の精選・工夫、教員の負担軽減や意識改革など、各学校でできるさまざまな取り組みについて、グループ討議、全体討議を経て伝え合い、自分の学校に持ち帰って還元するなど、有意義に研修を深めることができた。

### ● 若手・ミドルリーダーの育成（田原）



教育現場での推進力としての若手教員の育成、そしてミドルリーダーとして40代前半の教員の育成に努めている。とりわけ、参画意識を高め学校を運営していくマネジメント力を育成することを課題としてとらえ、研究に取り組んだ。

ある中学校区にある5つの小学校では、教頭間による情報交換だけでなく、他校のさまざまな年齢の教員との交流を通して、特に若手教員が新しい見方や考え方につれて触れること、ミドルリーダーが若手に助言することを狙いとして、夏休みに合同研修会を行った。討議内容は多岐にわたったが、若手教員の積極的な発言・質問があり、充実した機会となった。

## 地域・PTAと協働で子どもを育てる 教育コーディネーターとして～三河教頭会の活動～



三河教頭会 会長 河合 正浩  
(岡崎市立大門小学校)

上の写真は、新城の中学校の「防災フェスタ」の様子である。地域の一員として「助けられる側」から「助ける側」として行動できる中学生を育てることを目標にし、地域協働の事業として平成29年度から取り組んでいるという。

外部団体の方々の協力を得ながら、放水体験、AED講習や応急手当、避難シューター体験など、生徒を中心となり運営している。PTA委員と更生保護女性部の方々は炊き出し訓練を実施し、地域ぐるみの活動になっている。

内外からは、「学校や家庭ではできない貴重な知識や知恵を伝承できている」、「地域の方とのふれあいが、ご近所付き合いの輪を広げ、気軽に会話やあいさつができる関係を育んでいる」、「生徒に地域の人々への感謝の気持ちが芽生え、社会性や道徳性などを育てる教育が展開できている」などの評価を得ている。

わたしたち教頭は、児童生徒の成長はもちろん、人がつながり、地域が元気になることを目指し、学校を拠点に、学校・家庭・地域が力を合わせて、共に過ごし、共に学び、共に育つための「共育コーディネーター」（新城地区ではこのように表現している）としての重要な役割を担っている。三河教頭会では、このような力量を身につけるために、研修活動、情報収集活動を行っている。研究の視点は、次の3点である。

- ・継続性：これまでの成果を踏まえ、残された課題を解決すること
- ・協働性：教頭としてともに学びあうこと
- ・関与性：教頭としてどうかかわるかということ

このことを念頭に、三河地区が「ONE TEAM」となり、子どもたちの健やかな成長のために、よりよい学校運営のために、力を発揮できるように努めている。

### 教育コーディネーターとしての教頭の主な役割

- ① 地域の特色を生かし、PTAだけでなく地域の多くの方が参加できる活動を構想する。
- ② 外部の講師や団体等との連絡・調整を行い、必要な環境を整える。
- ③ 職員の役割を分担し、連携して運営できるよう配慮する。
- ④ 地域の方々への情報を発信し、学校の取り組みや児童生徒の様子を知ってもらう。
- ⑤ 教職員に過度な負担とならないよう工夫や配慮に努める。

# 随想

## 子どもと科学をつなぐ

蒲郡市生命の海科学館  
インタープリター

浅井 猛



**Profile あさい たけし**

1950年2月2日生（70歳）  
 • 金沢大学理学部物理学科卒  
 • 蒲郡市理科教員（1974年4月～2010年3月）  
 • 元蒲郡市立蒲郡西部小学校長  
 • 蒲郡市生命の海科学館職員（2010年4月～）



定年退職後、本市科学館職員となり、11年目を迎えるました。スタッフとともにチームを組み、出前授業、様々なワークショップやサイエンスショーを年間200回ほど行っています。当初からずっと継続している活動の中に、小学校低・中・高学年向けの3つの定例講座「かがく工作室」「かがく実験室」「理科実験室」があります。

年間計画のもと、各講座月1回、各約20名の会員の子どもたち、付添いの保護者や当日参加の方とともに科学・遊びを楽しんでいます。科学館での活動で、私が大切にしていることは、「センス・オブ・ワンダー」。不思議さに目をみはる感性を育てる。（レイチエル・カーソン）とくちばし鳥

いう言葉につきます。教員生活を通して、この感性が子どもたちだけでなく、私たちにもとても大切であると感じてきました。そこで、「日常生活とのつながりを大切にする」「磯の観察など自然を体験すること」「これまでの科学や人々の歴史に学ぶ」などをテーマに教材作りをしてきました。教材は、科学と子どもたちをつなぐもの、私たち

はその手助け（インタークリター）なのですが、この教材作りは、私たち自身も、様々な体験を伴い、とても楽しく、心惹かれるものなのです。

その中の一つ、江戸時代後期の人、国友村（現在の長浜市）の鉄砲鍛冶・国友一貫斎との出会いは衝撃的でした。彼は日本最初の反射望遠鏡製作者としても知られています。

江戸時代の科学の歴史、特に天文学について興味を持つて学び始める前は、彼についてまったく知りませんでした。初めての出会いは、「江戸の天文学者星空を翔ける」（中村士氏著）の中でのこと、江戸時代にこれほどの人がいたとはと驚嘆しました。さらに「夢をまことに」（山本兼一氏著）や資料収集で訪れた「国友鉄砲の里資料館」で、彼だけでなく、同時代を生きた多くの人々が西洋と東洋の狭間で、この国とともに苦しみもがきながら、次の時代の礎となつていったことを知りました。自分のような浅薄な知識でこの講座をつくることへの恐れや抵抗感はありませんが、それ以上に、一貫斎のように生きた人々

が多くいたという事実を、子どもたちや大人たちにどうしてもらいたい、共有したいという思いの方がはるかに強く、講座で取り上げることにしました。

いろいろ調べる中で、驚いたのは、気砲（空気砲）の製作過程で、空気に重さがあることを発見していました。空気については、沢庵和尚の氣づき（東海夜話）がありますが、実際に重さをもつた物質としての見方は、日本では一貫斎が最初ではないでしょうか。そこで、彼の空気の発見過程とそれを利用した物づくりを、子どもたちに再体験させることができ、空気についての科学的な見方・考え方を学ぶことにもつながると考え、「リュクト・ポンプ（真空ポンプ）」、大気圧を巧妙に利用した「ねずみ（自動給油灯りとり〈右写真〉）」づくりを高学年定例講座として実施しました。一貫斎の「夢」は、大空を飛ぶこと。「阿鼻機（あびき）」と名付けられた飛行機の設計図が残されています。カーソンの「センスオブワンダー」、そして一貫斎の「夢」。大切なものが一つ増えました。

## 教室の窓辺

### 高学年の迫力をうたごえに込めて

豊川市立中部小学校 教諭 辻 拓也

本校では、学芸的行事として「うたごえ発表会」を行っています。学年ごとに練習を積み重ね、全校児童で互いの歌を聴き合い、地域や保護者に向けて発表します。子どもたちは歌うことに対する自信をもち、中部小学校のうたごえ発表会を誇りと思っています。

「聴いている人を感動させたい。だから『高学年の迫力をうたごえに込めて』という目標にしたいです。」

この発言に象徴されるように、うたごえ発表会に向けた目標を全員が納得し、我がクラスも動き出しました。目標を達成するための柱は3つです。

- ① 指揮者を見て歌うこと
- ② 楽譜通りに歌うこと
- ③ 歌詞の意味を考えて歌うこと

パートリーダーを中心に、3つの柱を意識した練習が始まりました。すると、学級で話し合ったことを学年で伝えたいという意見がでてきました。



今年度は持ち上がり、6年生を担任しています。

この発言に感動しました。行事にかける子どもたちの思いを強く感じました。「カリキュラム・マネジメント」ということが言われますが、行事と教科とが繋がったと実感できました。これらの実践は、私一人の力ではできませんでした。先輩の先生方に教えていただき、学年の協力があつてできたことです。

初めての練習で、到達度26点と言った子が本番の後に105点と書きました。子どもに達成感や満足感を味わわせることができうれしかったし、自信になりました。



## 【作文の友】帯学習での活用法

## 朝のドリルを3ステップで

西尾市立西尾小学校 教務主任 倉知 雅美

## 低学年の実践例 1年生「ぶんをつくろう」

## ステップ1

国語科の教科書で、助詞の「が」を使った文の構成を確認した後、挿絵を見て「何がどうする」の文を書きます。

## ステップ2

復習として、教科書の写真を見て、「何がどうする」の文を書きます。指示がわかりやすいので、文を書き進めていくことができます。

**ステップ3**

国語科の教科書で、助詞の「は」「を」「へ」を使った文の作り方を学習した後、挿絵を見て文を書きます。ステップ2までの仕方と同じなので、朝ドリル学習の時間に自分で自信をもって取り組むことができます。



## 中学年の実践例 3年生「本は友だち」

## ステップ1

夏休み前に行います。読書感想文が「始め」「中」「終わり」で構成されていることを学べます。作品のよさを感じさせることができます。

## ステップ2

自分が読んだ本について、感想メモを記入します。①本を選んだわけ・本との出会い②あらすじや本の内容③心に残った場面や言葉などを記述する④自分が思った・考えたことなどがあります。組み立て表を作成すると、構成ができる。しっかりと読書感想文が書けます。

## ステップ3

感想メモを組み立て表に記入。組み立て表のページには、「始め」「中」「終わり」のそれぞれに書くとよい内容が示してあるので、どの部分をどこに記述するよいか、具体的に指導することができます。組み立て表を作成すると、構成ができる。組み立て表を作成すると、構成ができる。

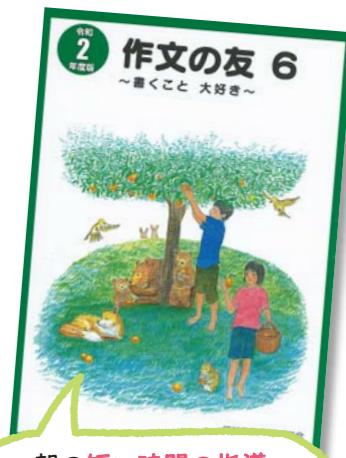
## 高学年の実践例 6年生「表現をくふうして書こう(詩)」

## ステップ1

『みかわの子』掲載作品から対句、擬態語、体言止めなど、さまざまな表現方法が学べます。気に入った作品とその理由を書いたり、くふうされている表現を見つけたりすることで、作品のよさを自分なりに分析できるようになります。

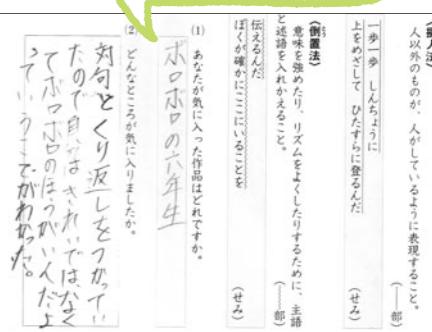
## ステップ2

詩の題材を決め、連想メモを書き出していくことで、いちばん伝えたいことを考えます。教師は、前ページを見ることで、簡単に振り返ることができます。原稿用紙を準備する必要がありません。また、原稿用紙の書き方の指導も合わせて行うことができ、効率的に進められます。



朝の短い時間の指導に使えます。  
スモールステップの構成なので、書く内容や書き方がわかりやすくなっています。

最終的な作品だけでなく、書き上げていく過程を評価するときにも生かせます。



## 令和2年度学校教育ボランティア助成グループ一覧

## — 読書活動グループ助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学附属岡崎小学校読み語りクラブ

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学附属岡崎小学校読み語りクラブ

## — 読書活動以外のグループ助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

## 〈団体の名称〉

## 〈代表者〉

## 〈主要な活動場所〉

## 附属

愛知教育大学ダンス部(ダンス演技指導等)

## — 読書活動グ룹助成対象団体 —

## 〈地区〉

発表年月日	研究領域	研究 主 題	研究期間	指定等	地 区	学校名
2.11.4(木)	教科指導	深い学びへつながる授業づくり ～見通しをもって考え、響き合う中で学ぶ姿を求めて～	30~2	西三河事務協	幸田	南部中
2.11.10(火)	道徳教育	互いに認め合い、仲間とともに主体的に行動できる台中生の育成 ～コミュニケーション力を育てる道徳科の実践を通して～	元～2	市教委(指定)	豊田	猿投台中
2.11.13(金)	学習指導	他者との関わりの中で、主体的に自分の考えを発信・評価できる生徒の育成 ～「書く」「話す」「説明する」等の表現活動を通して～	元～2	市教委(指定)	豊田	梅坪台中

### 〈小中学校合同〉

発表年月日	研究領域	研究 主 題	研究期間	指定等	地 区	学校名
2.10.28(木)	外国人児童生徒教育	魅力あふれる『多文化共生の街“保見”』の深化に向けたコミュニティ・スクールとしての連携 ～『ちがい』を認め合い、学び合う児童生徒の育成を通して～	元～2	市教委(指定)	豊田	西保見小 保見中

### 〈紙上発表校〉

発表年月日	研究領域	研究 主 題	研究期間	指定等	地 区	学校名
2.10.16(金)	学校図書館	他者とのかかわり感性をみがきあう子の育成 ～図書館や地域を効果的に活用した授業づくりを通して～	元～2	市教委(委嘱)	豊田	萩野小
2.10.21(水)	国語・算数科	主体的に学び続ける子供の育成 ～「まちガエル」「かんガエル」「ふりかエル」で「みちガエル」～	30～2	市教委	岡崎	緑丘小
2.10.22(木)	教科指導	伝えるつながるハッピー笑顔 ～自己有用感を生む異学年交流での学び合い～	元～2	市教委	田原	亀山小
2.10.22(木)	教科指導	響きあいながら考えを深める子どもの育成 ～子どもたちが思いをもって語り合う授業をめざして～	30～2	市教委	新城	新城小
2.10.22(木)	各教科・領域	子どもが自ら学ぶ意欲をもち、「つながる」「つなげる」授業づくり ～教科・領域を関連させた学びを通して～	30～2	市教委	新城	庭野小
2.10.22(木)	教科指導	自ら学びを深める生徒の育成	30～2	市教委	新城	千郷中
2.10.23(金)	学習指導(プログラミング)	論理的思考を身に付け、ともに学び合う元城っ子の育成 ～プログラミング教育を取り入れた授業づくりを通して～	元～2	市教委(指定)	豊田	元城小
2.10.28(水)	全教科	学びに向かう力を育む授業の創造 ～「みんなが学ぶ・みんなが伸びるチーム学習」を通して～	30～2	市教委	岡崎	細川小
2.10.28(水)	国語	未来を拓く中央っ子 ～伝え合い、自ら考える国語の授業～	30～2	市教委	蒲郡	中央小
2.10.28(水)	生活科・社会科 算数科・生単・ 自立(特別支援)	ともに学び、ともに生きる ～主体的・対話的で深い学びを育む授業づくりへの挑戦(3年次)～	30～2	市教委	蒲郡	塩津小
2.10.30(金)	全教科 生単(特別支援) 保健(養護教諭)	かかわり合いながら主体的に追究する生徒の育成～	30～2	市教委	蒲郡	形原中
2.11.11(水)	全教科	自ら学び続け、未来を切り拓くことができる生徒の育成 ～CRSで「学びに向かう力」を引き出す授業づくり～	30～2	市教委	岡崎	額田中
2.11.13(金)	全教科	わかる学習指導第12次研究(2年次) 自ら学び続ける生徒の育成 ～「読む」「書く」の充実を図り、『わかる』の実感を強める学習指導を中心に～	毎年	自主	岡崎	竜海中

## 三河の教育研究 令和2年度 研究発表校一覧

令和2年7月1日現在

### 〈附属学校〉

発表年月日	研究領域	研究 主 題 等	研究期間	学校名
2.9.29(火)	教科	第50回生活教育研究協議会 「独創性を育む」(5年次)	28～2	附属岡崎中
2.11.6(金)	教科	第51回障害児教育研究協議会 「夢中になって学ぶ子どもの姿を求めて」(5年次)	2～6	附属特別支援
2.11.19(木) 2.11.20(金)	教科	第71回生活教育研究協議会 「豊かに生きる」(3年次)	30～4	附属岡崎小

### 〈小学校〉

発表年月日	研究領域	研究 主 題	研究期間	指定等	地 区	学校名
2.10.14(木)	学習指導	学びの意識をもって深く学び、その成果を咲き誇らせる子の育成 ～関わりを重視した学習を通して～	30～2	市教委	豊橋	つつじが丘小
2.10.22(木)	学習指導	「たいわ」で深める授業づくり ～自分の考えを伝え、友だちの考えから学ぶ子の育成～	30～2	市教委	豊川	平尾小
2.10.22(木)	特別活動	自ら考え、本気で取り組む萩小っ子 ～「どんな自分になりたいの?」特別活動の考え方を生かして～	30～2	市教委	豊川	萩小
2.10.22(木)	道徳	自己を見つめ、他者を認め合う、小東っ子の育成 ～対話を中心とした道徳科の授業を通して～	30～2	市教委	豊川	小坂井東小
2.10.22(木)	全教科領域	豊かな心をもつ浜っ子の育成 ～役割と責任を果たし、自己有用感を高める活動を通して～	30～2	市教委	碧南	大浜小 <sup>(注1)</sup>
2.10.22(木)	社会科 生活科	「未来を切り拓く力・態度の育成」 ～『見方・考え方』を働かせるための六連スタイルの学習指導を通して～	30～2	市教委	田原	六連小 <sup>(注1)</sup>
2.10.27(火)	教科	主体的に学びに向かい、かかわり合いを通して学びを深める子どもの育成 ～互いに認め合う学級づくりを基盤とした授業づくりを通して～	元～2	市教委	刈谷	小高原小
2.10.28(水)	主権者教育	地域や社会の発展に主体的・協働的に参画できる子どもの育成 ～地域に開かれた教科等横断的な取り組みを通して～	30～2	市教委	豊橋	野依小
2.10.30(金)	教科	自ら探究し、仲間と共に未来をよりよくしようと行動する子どもの育成 ～地域に学ぶ「住吉っ子カリキュラム」～	元～2	市教委	刈谷	住吉小

### 〈中学校〉

発表年月日	研究領域	研究 主 題	研究期間	指定等	地 区	学校名
2.10.22(木)	道徳	自己肯定感を高めることができる生徒の育成 ～「伝えたい」「聴きたい」が広がる、道徳授業の実践を通して～	30～2	市教委	豊川	一宮中
2.10.29(木)	教科指導	「仲間と共に課題に向き合い、自ら学ぶ生徒の育成」 ～課題設定・個人思考・話し合いを重視した協同学習を通して～	元～2	事務協	北設楽	設楽中
2.11.4(水)	生徒指導	共感的な人間関係の中で、自己実現に向け歩みだす生徒の育成 ～自己肯定感・自己有用感を高める3つの力の育成を通して～	30～2	市教委	豊橋	中部中

※知立、西尾市は発表を来年度に延期し本年度はなし。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更になる場合あり。

(注1)：市内ののみの発表とする。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、緊急事態宣言が発令されるなど、前例のない状況からの出発となりました。

本法人の事業につきましても、年度当初の学校事務担当者会の中止に始まり、各種の会議が中止となりました。十分な説明がないまま、お困りのあることがあります。不明な点は遠慮なく文振担当者にお問い合わせください。

6月から下記の通り、新しいメンバーによる業務組織になりました。これまでと同様によろしくお願いします。

## 都市教育・研究助成について

◇例年どおり実施します。使用用途については、熱中症及び新型コロナウイルス対策にもぜひご活用ください。

## 『親と子の自然観察ガイド』第4集 虫の鳴き声がQRコードから聞こえる

A5判64ページ  
額価550円(税込)

『親と子の自然観察ガイド』第4集  
虫の鳴き声がQRコードから聞こえる

由研究の進め方」も掲載しています。学校でも購入し、図書館や学級文庫において役立ててください。また、保護者の皆さんに直接手に取つてもらえる機会を作っていただければ幸いです。



◇追加注文を受け付けますので、お申し込みください。

## 『英語演習』バージョンアップ 実力向上間違いなし！長文問題の充実

三河地区の国公立、私立高校入試対策にぴったりの問題集です。



B5判464ページ  
額価1,100円(税込)

## 『高校入試問題集』発刊

◇追加注文を受け付けますので、お申し込みください。

◇来年度、『デーリーイングリッシュ』が『英語演習』として新しく生まれ変わります。従来のテキストをやめ、その分学校現場から要望の多かった長文問題や自己表現問題をたくさん盛り込んで、テスト（プリント）主体とします。そして、リスニングの問題も高校入試対策にもなるよう全面建成的に見直します。

新学習指導要領の実施に合わせて大幅に変わった、教科書準拠の『英語演習』にご期待ください。

## 令和2年度版『夏休み日誌』休刊

◇本年度『夏休み日誌』を休刊します。学校の休校長期化で、授業ができるいない状況や、夏休みの大変な短縮が計画されているなかで、既習事項の復習を内容とした本誌は、活用の場が少ないのでないかとの判断からです。これにともない使用報告の必要はありません。

来年度は、予定通り発刊できるよう準備を進めていますので、ご活用をお願いします。



## 使用報告・刊行物注文締切

- ◇使用報告／算数の友(下) 9月8日(火)～10日(木)
- 注文締切／冬休み日誌・書きぞめ手本  
9月15日(火)～17日(木)



## 会議の予定

- 第2回文振都市正副代表者会 10月9日(金)
- 第2回文振都市事務担当者会 10月20日(火)
- 刊行物都市説明会 10月下旬より開始します。

## 令和2年度 業務組織

顧 問	青木 宏氏	
理 事 長	天野 明典	副理事長 浅井 英雄
常務理事	河合 智仁	福井 基明
事 務 長 (兼総務部長)		伊藤 雅朗
事務次長 (兼業務部長)		天野 広子
総 務 部	山本 満夫	水鳥 勝久
編 集 部	酒井 敬	水藤 彰啓
業 務 部	稻垣 良治	本多麻紀子 深津 理絵
経 理 部	白井 博司	谷中 智典 牧 富代
事 務 員	鈴木 千明	

